

これからの グローバル 人材育成

まとめ



本特集のまとめとして、今後のグローバル人材育成のための教育の再定義の具体例をまとめた。グローバル教育を見直すことは、卒業後の学生の将来のためになるだけでなく、自学、そして日本全体の国際競争力を高めることにもつながる。参考にされたい。

コア化

- 執行部、教職員のマインドセットをグローバル化
- 教育・研究、そして運営上も、グローバル 이슈に取り組む
- 全学生向けのキャリア教育として取り組む
- 「留学」「国際」を特定部署の分掌とせず、部門横断で対応する など

多様化

- 交わる地域、国、文化、人の多様化(国内外によらず「内輪」の外に出る)
- 教育手法の多様化(語学研修、現地留学以外の可能性)
- 言語の多様化(正しさにこだわりすぎない英語、英語以外の言語の扱い) など

日常化

- 国内キャンパスのグローバル化
- 多くの学生に届くグローバル系施策の広報活動
- グローバル系以外の科目でも世界を意識させる内容、工夫
- サークル、学生寮等での正課外でのグローバル体験 など



卒業後の学生、大学、日本の
国際競争力と持続性を高める